中村病院糖尿病内科通信 (第 27 号)

日本糖尿病学会近畿地方会にて発表を行います

平成25年11月23日に国立京都国際会館において第50回日本糖尿病学会近畿地方会が行われます。 毎年約2000人が参加する大きな学会で、毎年当院から発表を行っています。今年は医師2題、看護師1題、薬剤師1題、管理栄養士2題、理学療法士1題と過去最多の7題の演題発表を行う予定です。学会や研修への参加により、中村病院での糖尿病療養指導体制の充実を図って参ります。

糖尿病内科 外来診療表

午前診 9:00~12:00 夜診 17:30~19:30

月	火	水	木	金	土
高橋	桑村	高橋	高橋	桑村	高橋
濵崎/高橋	桑村	高橋			

月曜日夜診

第 1,3,5 週:濵崎 , 第 2,4 週:高橋 (都合により変更することがあります)

土曜日午前診:第2,4週のみ(11,12月は下記のように変更しますのでご注意下さい)

※11,12月の土曜日外来は第2,第3週の土曜日に診療を行います。

糖尿病コラム

前回「患者中心の個別化治療」という内容を書かせて頂きましたが、食事療法に関しても同じような話が出てきています。日本での基本的な食事療法は、食品交換表を用いて、栄養素別に6群に分けた食材を決められた量だけ使用するというもので、バランスのとれた健康食を実践することができます。ただ、最近「糖質制限食」など様々な意見が出ており、各々の食事療法について客観的な評価が定まっていない現状があります。極端に偏った食事は好ましくありませんが、例えば3大栄養素である糖質・脂質・蛋白質の摂取割合についても確固たるものがありません。このような現状を踏まえ、日本糖尿病学会でも「患者さんの病態や嗜好を踏まえて」との文言が記載され、また先日の米国糖尿病学会の声明でも、唯一無二の食事療法は存在せず、患者の個性に合わせて食事療法を個別化するように明記され、栄養指導の重要性が指摘されました。結局は、画一的な指導ではなく、個別化されたきめ細やかな指導が求められることになりますが、主役は患者さんですので、自分の食事療法を再度点検してみて下さい。

糖尿病教室のご案内

当院は日本糖尿病学会認定教育施設としての糖尿病教育活動の一環として、<u>毎月の最終月曜日午後3</u>時より当院2階2B病棟食堂デイルームにて糖尿病教室を実施しております。当院以外の診療所等で通院中の方でも自由に参加できます。無料ですので、是非ご参加下さい。

平成 25 年 11 月 25 日(月) インスリン治療について 12 月 16 日(月) 糖尿病の内服治療

平成 26 年 1月 27日(月) インクレチン関連薬 2月 24日(月) 急性合併症

3月31日(月) 運動療法 4月28日(月) 糖尿病の分類

5月26日(月) 糖尿病網膜症 6月30日(月) 糖尿病腎症